

## 経鼻的上部消化管内視鏡検査を受けられる方へ

### 検査目的)

上部消化管(食道・胃・十二指腸を示します)にできる病気(炎症・潰瘍・ポリープ・癌・食道静脈瘤など)を見つけ、適切な治療方法を考えるために行います。

### 方 法)

まず、鼻腔内の粘膜の浮腫みを取り除くために血管収縮剤を点鼻し、その後、液体の麻酔薬を鼻腔内にスプレーします。次に細いカテーテルを鼻腔に挿入しゼリー状の麻酔薬を注入して追加麻酔を行います。内視鏡の器械は柔らかく、太さは5mm程で、先端から明るい光を発して内部を鮮明に観察することができます。必要ならば、小さな組織を採取して顕微鏡で細胞(病理組織検査)を判断し、また、色素を散布し病変を明瞭にして診断の助けとすることがあります。組織の採取には特に痛みはありません。通常自然に止血されますが、出血が多い場合には内視鏡的処置を行います。(場合によっては止血トロンビンを使用することもあります)

### 検査前日および当日の注意事項)

前日は夜21時までに食事を済ませ、以降は水かお茶またはスポーツ飲料のみを摂取して下さい。当日の朝は、コップ一杯の水以外は取らず、内服薬は検査担当医の指示に従って下さい。また、内服されている薬はご持参下さい。

### 検査終了後の注意事項)

検査後 30~60分で喉の麻酔が切れたら水分や軽食を取って頂いても構いません。組織検査を受けられた方は、2時間くらい空けていただき、当日の飲酒・喫煙はご遠慮下さい。また、当日の入浴はお控え頂いてシャワーのみにして下さい。尚、組織検査の結果は約1週間後になります。

### 偶 発 症)

この検査では非常に稀に、喉の麻酔によるショック、出血穿孔などが起こります。十分に注意し、事故の起こらないように努力していますが、万一偶発症が生じたときは外科処置を含めた最善の処置を行います。

## 同 意 書

私は、経鼻的上部消化管内視鏡検査にあたり上記の説明を受け理解し、同意いたします。また、万一合併症を生じた場合には必要な処置を受けることを承諾します。

平成 年 月 日

患者氏名 印

親族または代理人 印

藤井クリニック 院長 藤井靖成 殿